

社会

【社会的な見方・考え方】

社会的な事象を位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

社会 小学校

1 問題解決的な学習過程を重視した単元構成

- ・新たに示された「内容の枠組みと対象」(解説編 P150 参照)に基づき、中学校社会科の学習内容とのつながりを踏まえ、単元の指導計画を作成します。
- ・単元全体の学習問題を設定し、単元を通して、社会との関わりを意識して学習問題を追究・解決する活動を位置付けます。
- ・社会的な事象から学習の問題を見だし、問題解決の見通しをもって取り組み、学習したことを振り返り、新たな問いを見いだす活動を位置付けます。

2 資質・能力の定着を図る1単位時間の授業

- ・児童の既習の知識や身近な生活との関連を踏まえ、地図やグラフなど、資料提示を工夫し、児童の課題意識を基に学習問題を設定します。
- ・社会に見られる課題について、複数の立場や意見を踏まえて考えたことを論理的に説明する言語活動を位置付けます。
- ・概念的な知識の定着を図るため、終末において、身に付けた知識を再構成して、学習内容を自分の言葉でまとめる活動を位置付けます。

3 問題発見・課題解決能力や情報活用能力等の育成

- ・社会的な事象の特色や意味、社会に見られる課題などについて、見方・考え方を働かせて、問題を発見したり、問題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする活動を位置付けます。
- ・各種資料から必要な情報を収集したり、収集した情報を読み取ったり、まとめたりする活動を位置付けます。

社会 中学校

1 課題解決的な学習過程を重視した単元構成

- ・新たに示された「内容の枠組みと対象」(解説編 P184 参照)に基づき、小学校社会科の学習内容とのつながりを踏まえ、単元の指導計画を作成します。
- ・単元全体の学習課題を設定し、単元を通して、社会との関わりを意識して社会に見られる課題を追究・解決する活動を位置付けます。
- ・社会的な事象から学習課題を見だし、課題解決の見通しをもって他者と協働的に追究し、学びを振り返り、新たな問いを見いだす活動を位置付けます。

2 資質・能力の定着を図る1単位時間の授業

- ・生徒の既習の知識を関連付け、学習内容の深い理解と個別の知識の定着を図るため、地理・歴史・公民それぞれの分野の特質に応じた見方・考え方を働かせる学習課題を設定します。
- ・資料を有効に活用した論理的な説明や、立場や根拠を明確にした議論などの言語活動を位置付けます。
- ・概念的な知識の定着を図るため、終末において、考察・議論したことを基に身に付けた知識を再構成して、自分の考えを説明・論述する活動を位置付けます。

3 問題発見・課題解決能力や情報活用能力等の育成

- ・社会的な事象の意味や意義、特色等を考える活動、社会に見られる課題の解決に向けて、社会への関わり方を公正に選択・判断する活動を位置付けます。
- ・コンピュータ等を活用し、知識の習得、情報の収集、共有や交流及び発表などの活動を位置付けます。

指導の一層の充実に向けて

- ・単元の指導計画には、「単元を貫く問い」「小単元を中心となる問い」「各次の問い」を設定し、単元の目標に到達できるようにしましょう。
- ・学習問題の追究や解決をする際は、授業の大まかな見通しを児童と共有します。振り返りでは、何を学んでいたのか、何が分からなかったのかに気付かせることで新たな問いを見いださせます。学んだことを基に自らの生活を見つめる姿勢を育みましょう。